

学生には社会を変える力がある!

齋藤郁真 全学連委員長

私の後輩たちは、大学でビールまきも集会もできないのが当たり前だと思われています。大学に入った瞬間からそういう「ルール」や「常識」があるからです。

大学は学生自治の解体と一体で、高い学費と奨学金ローンで学生の人生を奪っています。しかし、学生が団結して立ち上がればすべてをひっくり返すことができます!

共謀罪は「組織的犯罪集団に適用する」と言われていますが、安倍政権こそがこの国で最大最悪の組織犯罪集団です! 森友や加計学園を見てください。きわめて不正かつ不透明な手続きで、みんなの税金や土地が安倍のオトモダチに分配されたことは事実ではありませんか。安倍首相も、菅官房長官も、そしてそのオトモダチも、さっさと監獄にぶち込もう! そのために僕ら自身の力が必要です。団結して闘おう! (6月15日の共謀罪強行成立直後の国会前で)



京大生Bさんからのアピール

私は2016年に初めて全学連大会に参加しました。大学での学生運動のあり方について多くの人と議論したいと思ったことが参加の動機でした。

しかし、公安警察による暴行という、全く私の想定外の出来事で全学連大会は幕を開けました。

私は着ていた服を引っ張られ、持っていたお弁当も履いていたサンダルもなくなってしまい、転びながらなんとか会場にたどり着きました。会場まで手助けしてくれた全学連の方々に感謝します。なぐられたり、血を流している人もいました。

公安に対して、暴力をふるっても無駄だからやめろということ、学生運動へのすべての弾圧を今すぐにやめろということを強く言いたいです。そして、不当な圧力に屈することなく自分の人生を生きていくのだという決意を固めています。

首都圏学生Aくんからのアピール

公安による弾圧を目の当たりにするのは初めてのことでした。あの襲撃の手が降りかかった時に、恐怖以上に怒りがこみ上げました。自分の目の前で仲間が虐げられていることへの怒りです。「新自由主義攻撃」「改憲攻撃」という言葉に茫漠さを感じていた自分が、この時初めて仲間との団結という地平に立てたのだと思いました。

カンパのお願い

全学連は安倍政権の戦争政治との最先端の攻防として、告訴・国賠闘争を最強の弁護団とともに闘いぬきます。裁判にあたって、弁護士費用含め多額の費用がかかります。ぜひ全学連にカンパをお願いします!

郵便振替: 00190-0-766112

口座名: 全日本学生自治会総連合

国家賠償請求訴訟 第3回口頭弁論

10月2日(月) 15時~
東京地裁 429号法廷

発行: 2017年8月15日

権力を告発



公安警察を許さない

全学連大会襲撃事件とは?

2016年9月1日~2日に都内で開催した全学連大会の会場前で、公安警察が参加者を暴力的に襲撃した事件。公安警察は、「参加者のメガネや帽子をはぎとる」「胸倉をつかんで殴る」「地面に引き倒す」「首を締め上げる」などの白昼公然たる暴行におよび、暴行をやめさせようとした参加者にはそれ以上の苛烈な暴力をふるいました。これこそ、国家の姿であり、安倍政権の戦争政治そのものです。

告訴・国賠で反撃!

2016年11月29日、全学連は15名の公安警察を告訴し、損害賠償請求訴訟を申し立てました。告訴の罪名罰条は、「特別公務員暴行陵虐」(刑法第195条1項)、「特別公務員職権濫用等致死傷」(同法196条)、「共同正犯」(同法第60条)です。「特別公務員暴行陵虐罪」とは、「裁判、検察若しくは警察の職務を行う者又はこれらの職務を補助する者が、その職務を行うに当たり、被告人、被疑者その他の者に対して暴行又は陵虐若しくは加虐の行為をしたときは、7年以下の懲役又は禁錮に処する」というものです。

全日本学生自治会総連合 (齋藤郁真委員長)

TEL.03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/



ZENGAKUREN

学生(写真中央)に数名でつかみかかる公安警察



公安警察に殴られ吹き飛ばされる学生



服を引っ張り張られる学生



学生に激しく掴みかかってくる公安刑事



学生が頭に巻いていたタオルが剥ぎ取られる



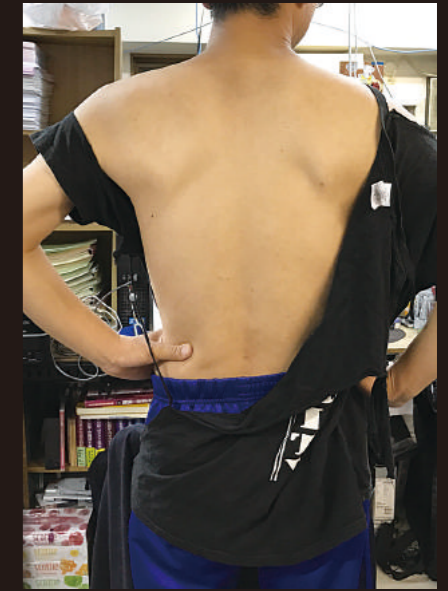
学生のマスクを強引にはがす公安



許せるか この暴行!



反戦集会を監視する公安刑事



公安に破られたシャツ

学生にリアットをかける公安刑事

「視察活動」と居直る

警視庁公安部と東京都は、損害賠償請求訴訟の準備書面で、全学連大会への襲撃を「視察活動」「職務質問」「いずれも適法」と居直りました。

その理由として、告訴人および原告の学生が「警察に対する極めて強い敵対心と粗暴性を有している」と述べています。つまり、「戦争反対で声をあげる学生は襲撃しても構わない」ということです。これが公安警察の正体です。

今後の裁判でこれらのことを徹底的に弾劾し、公安警察の腐りきった実態を暴いていきます。告訴についても、東京地検に受理させて徹底的に闘う決意です。

次回の裁判は10月2日です。裁判への結集と支援のカンパをお願いします。

全学連を襲撃した公安警察15名を 告訴×国賠で訴えました!!!



星 隆夫(警視)



芝 拓臣



遠山 信次



岡野 直人



山本 清仁



西澤 雄



中山 幹也



吉徳 健太郎



佐藤 敦



古畑 直哉



紺野 正敬



鈴木 達



藤澤弘和



小林正樹



河西昭人

安倍と公安警察を監獄へ!

告訴・国賠の闘いで安倍政権と警視庁公安部を追い詰めよう!

安倍政権が強行した「共謀罪」で、実際に労働者・学生を弾圧するのは公安警察です。公安警察の弾圧の狙いは、労働運動・学生運動・市民運動・反戦運動をつぶすことにあります。

森友学園や加計学園で暴かれた安倍政権の不正腐敗や、全学連に襲いかかる公安警察を見ても明らかのように、彼らこそが最大の「組織的犯罪集団」です。

公安警察との闘いは、改憲・戦争をとめる重要な柱です。全学連は、京都大学と法政大学を先頭に全国大学での学生運動の爆発に向けて、これからも闘いぬきます。